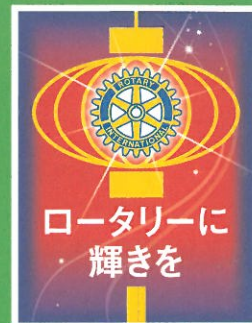




# KUMAMOTO GREEN Rotary-Club bulletin



2014-  
2015年度  
テーマ

- 国際ロータリー 「ロータリーに輝きを」 R.I.会長 ゲイリー C.K. ホアン
- 地区方針 「ロータリーを学び直し 新たな第一歩を踏みだそう」 R.I.2720地区 ガバナー 小山 康直
- 熊本グリーンR.C. 「ロータリーを知ろう」 熊本グリーンR.C.会長 田中 純司

■例会日：毎週月曜日 18:30～19:30  
 ■例会場：熊本市中央区城東町4-2 熊本ホテルキャッスル  
 TEL096-326-3311

■創立：平成元年2月22日 ■会長：田中 純司 ■幹事：蒼 孝之 ■会報担当：長野 義文  
 ■事務所：熊本市中央区城東町4-2 熊本ホテルキャッスル内  
 TEL096-354-4521 FAX096-354-4053 E-mail:kgro@io.ocn.ne.jp

## 国際ロータリー 第2720地区 熊本グリーンロータリークラブ週報

【2014年10月27日】

第1150回  
2014-2015年度 第13回  
【例会】

1. 開会・点鐘 18:30
2. 食事と交歓

「奉仕の理想」(ロータリーソング)

来訪者紹介 (河島 一夫 副会長)

\*卓話者  
 熊本第2ガバナー補佐  
 丸埜 昭三 氏(肥後小国RC)

友情の握手

会長スピーチ (河島 一夫 副会長)



今日の例会に田中会長が欠席の連絡を先程、携帯電話に有りました。そう言えば、先週の例会終了後に「来週は休むので…」とこのことを思い出しました。しかし、急なことで会長代行役に戸惑っています。本日は、第二グループガバナー補佐の丸埜昭三様に卓話をお願いしてお越し頂いています。「慶州ナザレ園」のお話しとお伺いし

ています。よろしくお願いたします。昨年度の後半から出席率が悪くなっていると感じています。会員の人数も減り一段と寂しさを感じています。お互いに誘い合って一人でも多くの会員が出席されるようにしなければと思いますので、会員の皆さん宜しくお願致します。

幹事報告 (山下 佳介 元会長)

■ 報告事項(その他のロータリー関係)  
 ①「ロータリー家族清掃活動」  
 お知らせとご案内

毎年恒例となりました。12月の一斉清掃のご案内が来ました。

日時:平成26年12月7日(日)  
 午前9時～午前11時位迄

場所:  
 白川公園に集合～下通アーケード周辺清掃～  
 辛島公園にて解散  
 準備物:ちりバサミ、軍手、タオル、クラブタスキ  
 ロータリー帽子、クラブのぼり等

■ 例会取止め・変更

<例会変更>

★熊本西RC  
 11月25日(火)の例会は、熊本第4グループIMため、11月24日(月・祝日)13:00よりANAホテル熊本ニュースカイにて行います。

卓話  
予定

- 11/10 「高校野球雑感」上田 祐規氏(鎮西学園 理事長:熊本RC) ★熊本北RCとの合同例会 ★例会終了後、場所を下通の「Patora(パトラ)」に移して懇親会開催。
- 11/17 「ロータリー財団の基礎知識」地区ロータリー財団部門長 木村 初氏(熊本西南RC)
- 11/24 祝日(勤労感謝の日の振替休日)の為、例会取り止め

【熊本グリーンR.C.ホームページアドレス】 <http://www.kg-rc.com/>

グリーン・クラブの例会日がきても、出席するかどうか決めるには及ばません。というのは、私にとって出席は決まりきった事だからです。これは、ロータリーに入会したとき受入れた義務の一つです。

★熊本西南RC

11月26日(木)の例会は、熊本第4グループIMため、11月24日(月・祝日)13:00よりANAホテル熊本ニュースカイトにて行います。

★熊本北RC

11月13日(木)の例会は、熊本グリーンRC合同例会のため、11月10日(月)18:30より行います。

**出席報告** (葉 高源 会員)

	会員総数	24名	出席率
10月27日	出席免除会員数	2名	59.09%
	計算上会員数	22名	
	出席会員数	13名	
10月13日	前回の出席会員数		休会
	メイクアップ数		
	修正出席会員数		

**委員会報告**

①熊本グリーンRAC11月例会  
報告者:山下 佳介アクト担当長

【11月第1例会】

日時: 11月4日(火)19:30~21:00 場所: くまもと県民交流館「パレア」10F「会議室6」内容: 田中純司熊本グリーンRC会長卓話 ★今回はグリーンRC田中会長の卓話ですし、会場も市内中心部で行われます。又、例会終了後、安政町アスコットホテル 1F「かこみ庵」に移動して「懇親会」が開催されます。是非、多数の会員の参加をお待ち致しております。

【11月第2例会】

日時: 11月18日(火)19:30~21:00位迄 場所: 熊本県立大学 総合管理学部棟4F「演習室2」内容: 「熊本南ローターアクトとのペアクラブ例会」★例会後、いつものように「食事会」が開催されます。

**スマイル** (大友 利行 会員)

●丸埜 昭三 君

(熊本第2グループガバナー補佐)

「私は丸埜昭三と申します。本日、熊本グリーンRC例会において仙波洋八氏の紹介により、卓話をする事になりました。初めての訪問で、十

十分な卓話ができるか少々心配ですが時間内に終わるようにお話をさせていただきたいと思えます。よろしくおをお願いします。」

●河島 一夫 君

①「今日は会長代行と今しがた田中会長から電話がありました。久しぶりの会長職。皆様よろしくおをお願いします。」

②「俳句ひとつ『ひからびた大地に肥えた甘藷(いも)を抜く』仙波さんいかがでしょうか？」

●上田 観一 君

「本日は熊本第2グループガバナー補佐 丸埜昭三(まるの しょうざぶ)様の卓話を楽しみにしていました。どうぞ宜しくお願ひ致します。」

●仙波 洋八 君

「RI第2720地区熊本第二グループガバナー補佐丸埜昭三さんのご来訪に感謝致します。「ナザレ園」と聞くと、私達年代の者にとっては悲劇的な印象で受け止めています。本日、その実像を知ることが出来ると期待しています。」

●荒木 一之 君

「先日は母の葬儀、通夜にご列席頂き、弔電、お花も頂きありがとうございました。心より感謝のスマイルをさせていただきます。」

●栗山 義則 君、葉 高源 君、松村 秀逸 君 大友 利行 君

「今日の卓話者 丸埜昭三様、小国からおいで下さいました。お話を楽しみにしています。」

3. 例会プログラム

司会:(紹介者):仙波 洋八 会員

卓話者:



丸埜 昭三 氏  
(熊本第2グループガバナー補佐)

「日系婦人保護施設 慶州ナザレ園」



## 慶州ナザレ園(慶州なざれえん)とは

韓国慶尚北道慶州市にある施設。1945年の終戦後、朝鮮半島に取り残された日本人女性の一時避難場所を目的として設置されたが、日本に身請け人のいない日本人女性達が帰国できずに施設に残り、やがて養老院の体を成していった。

1945年8月に終戦を迎えた後、満州・朝鮮から大量の日本人が日本に帰国して行った。その中で、朝鮮人と結婚した日本人女性の何人かは朝鮮に残ることを選択した。しかし、解放を迎えた朝鮮で日本人を妻にしていることが社会的重荷となって日本人妻を捨てたり、妾として迎えられた日本人妻がその処遇に耐えられなくなって家を出たり、または1950年に勃発する朝鮮戦争で夫と行き分かれるなどによって、独り身になったまま生活する日本人女性が日本に帰国できないまま取り残された。慶州ナザレ園はそうした日本人妻を援助するために設立されたものである。

慶州ナザレ園は1972年10月1日、「帰国者寮ナザレ園」として社会福祉法人の認可を受け、10月5日に入居が始まった。設立に関わったのは日本で擁護老人ホームを経営する菊池政一と韓国老人施設協会の会長金龍成である。私立仏国寺中学校を買収して施設を設置した。最初の入居者数は7名であった。

慶州ナザレ園の役割は、日本に帰国できていない日本人(ほとんどが朝鮮人と結婚した日本人女性)の保護と、彼女達の国籍の確認、帰国の意思がある場合は日本国内にいる身元引受人の調査である。朝鮮半島に取り残された日本人妻の多くは当時の強い反日思想のため日本人であることを隠して生活していた。そのため、日本政府もその実態を把握しておらず、活発な活動をしていた在韓日本婦人組織「芙蓉会」の調査で存在が確認されるケースが多かった。彼女達は日本では死亡扱いされていたり、国籍を失っていたり、または生きるために朝鮮戦争の混乱を利用して韓国籍を取得していたりしていたために、その身分を証明することは容易ではなかったが、金龍成をはじめとする支援者の協力で直接間接を含めて百数十名を日本に帰国させている。しかし、ナザレ園に滞在する日本人妻の何人かは、日本に身元引受人がおらず、また本人も日本に帰国する意思がないため、実質的に養老院の体を成している。

### 【ナザレ園設立までの歴史的背景】

1945年8月に終戦を迎えた後、満州・朝鮮から大量の日本人が日本に帰国しました。そのような中、現地の男性と結婚した日本人女性の中には家族と離れて帰国することをせず、現地に残ることを選択した方がおられました。しかし、戦後の現地では反日感情が強く、日本人を妻にしていることが社会的重荷となってしまったこともあり、家族と離れ日本人であることを隠しながらひっそりと暮らす人もおられました。また、1950年に勃発した朝鮮戦争で夫と生き別れたり、その混ナザレ園はそんな日本人妻を援助するために1972年10月に金龍成(キム・ヨンソン)先生によって設立されました。

### 【慶州ナザレ園の設立とその活動について】

敬虔なクリスチャンであった金先生は『真の愛の尊さと人間に国境はない』という信念に基づいて活動を続けられました。残念ながら金先生は2003年に亡くなりましたが、その意思は、現在の宋園長先生に受け継がれています。ナザレ園には日本人妻の保護という役割のほかにも、彼女達の国籍の確認、帰国の意思がある場合は日本国内にいる身元引受人の調査を行うという役割もしていました。

今までに百数十名の方の日本への永住帰国が実現しています。また、日本への帰国がかなわなかったおばあちゃんたちの強い思いである『せめて日本の見える丘にお墓を建ててほしい』という願いも実現し、ガンポのお墓として建立されています。

## ROTARY LEADER ロータリーリーダー

最優先事項 強力なリーダーを育成する  
プラス志向の環境がリーダーシップを磨く

地区リーダーが取り組むべき試みの1つに、将来を見据えて会員のリーダーシップを育てることがあります。優れたリーダーが育てば、活発なクラブづくりを推進し、地区をさらに発展させることができるでしょう。

### まずは環境づくりから

「何より前向きな姿勢が大切」と話すはパストガバナーのリー・フェレスさん(米国、フォートローダーデール・ロータリークラブ)です。フロリダアトランティック大学でリーダーシップ教育の博士号を取得したフェレスさんは、RI研修リーダー、ロータリーリーダーシップ研究会進行役、PETS研修者などを歴任したほか、長年にわたってリーダーシップ開発の分野で研究を重ね、それを実践に生かしてきました。

前向きな雰囲気があれば、人はリーダーとなるために頑張るようになると話します。

「まずは毎週の例会の冒頭で、プラス思考の引用や談話を紹介するとよいでしょう。些細なことでも構いません。ロータリークラブや地区で起こっている活動やニュースを紹介してもよいでしょう」

また、プロジェクトや活動の評価を行う際は、「うまくいったことは何か」「次回は何を工夫ができるか」について話し合ってみましょう。前向きなトーンで話し合いを進めることで、会員の熱意に水を差すことなく活動を進められます。

ロータリー会員の多くは自己学習型、と分析するフェレスさん。自ら率先して活動に取り組み、地元や海外のニーズを満たすために関心や情熱を行動に変えられる人たちだと話します。将来のリーダーを育てるのに大切なことは、新しい出会い、意見交換、行動の場を広げる手助けをすることです。